

大野台小学校総合学習

第3回

開催日時 2018年2月27日 13:50から

第3回の今日は、NPO法人相模原こもれびの私たちへの報告会でした。父母の方への報告会が前日に行われたそうです。その一部ですが、木もれびの森について、鳥、歴史、花、木、木もれびの森（全体）、総合学習から学んだことを、生徒の皆さんは発表文を覚えてそらんじて報告してくれました。

まずは、エナガ。小さな小さな鳥の発表でした。そのほか、森に棲んでいる鳥たちが紹介されました。木もれびの森の広さは、73ヘクタール（東京ドームは4.7ha）で、東京ドームの15.5倍と紹介された。木もれびの森は、1967年と

1971年の相模原市近郊緑地保全全区域のうち、特に自然環境の良好なこの73haを、1973年に「相模原近郊緑地特別保全地域」に指定された。

1984年ごろ、クスサンやヤマダカレハなどの蛾が大量発生し、森の荒廃が明らかになりました。ここからNPO法人相模原こもれびの活動が始まります。

小鳥やクスサンの絵や、木もれびの森の地図、年表などの皆さんの力作が披露されました。木もれびの森の中で、一番大きな葉を持つものは、「ホオ（朴）」の木と写真で教えてくれました。

木もれびの森は、1699年新田開発が始まり、

コナラ・クヌギなどを育て、炭焼きを始めたことに始まりました。発表用に大きな年表が作られました。

総合学習で作ったペンダントを掲げながら、2回の授業を紹介してくれました。

木もれびの森について、いろいろと教えていただきました。「ミズキの森」のニワトコの芽が大きくなっていました。

3年生の皆さん、しっかりした報告発表をありがとうございました。素晴らしかったです。

改めて『木もれびの森ガイド』を読み直します。



まずは、エナガ。小さな小さな鳥の発表でした。そのほか、森に棲んでいる鳥たちが紹介されました。木もれびの森の広さは、73ヘクタール（東京ドームは4.7ha）で、東京ドームの15.5倍と紹介された。木もれびの森は、1967年と

1971年の相模原市近郊緑地保全全区域のうち、特に自然環境の良好なこの73haを、1973年に「相模原近郊緑地特別保全地域」に指定された。

1984年ごろ、クスサンやヤマダカレハなどの蛾が大量発生し、森の荒廃が明らかになりました。ここからNPO法人相模原こもれびの活動が始まります。

小鳥やクスサンの絵や、木もれびの森の地図、年表などの皆さんの力作が披露されました。木もれびの森の中で、一番大きな葉を持つものは、「ホオ（朴）」の木と写真で教えてくれました。

木もれびの森は、1699年新田開発が始まり、

コナラ・クヌギなどを育て、炭焼きを始めたことに始まりました。発表用に大きな年表が作られました。

総合学習で作ったペンダントを掲げながら、2回の授業を紹介してくれました。

木もれびの森について、いろいろと教えていただきました。「ミズキの森」のニワトコの芽が大きくなっていました。

3年生の皆さん、しっかりした報告発表をありがとうございました。素晴らしかったです。

改めて『木もれびの森ガイド』を読み直します。

